

# 地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 谷山北

## 【計画】

作成担当者： 宮内 泰明

開催日時	平成30年06月27日 13:30 ~ 15:20	開催場所	谷山北公民館
参加者	居宅介護支援事業所：21人、地域包括支援センター職員：6人		
	総数 27人		
内容	テーマ	谷山北圏域の高齢者の状況や地域の特性を知り、理解を深めるとともに、地区毎の課題や不足する社会資源について皆で検討していく。	
	目的	谷山北圏域についての理解を深め、今後、圏域内の居宅ケアマネジャーと共同で地区診断を行えるようにする。	
	概要	①谷山北圏域における地区診断について～平成29年度実務者会議より～ ②谷山北圏域ってどんなところ？ ・ケアマネジャーの役割について ・グループワーク～みんなで考えてみよう！～	

## 【結果】

開催日時	平成30年06月27日 13:30 ~ 15:20	開催場所	谷山北公民館
参加者	居宅介護支援事業所：21人、地域包括支援センター職員：6人		
	総数 27人		
内容	<p>[検討内容]</p> <p>①谷山北圏域における地区診断について～平成29年度実務者会議より～ 前年度、谷山北で取り組んだ、地区診断の資料を用いて、谷山北圏域における人口動態および、地域特性として団地に住む世帯数の数等を提示。桜ヶ丘、皇徳寺台、星ヶ峯に市営住宅及び県営住宅があり、戸数にして3,836を有している。また、それらの団地は昭和52年から昭和63年に造成されており、仮にその当時30代で入居された人は、現在60代から70代になっており、今後後期高齢者を迎えるにあたって、介護の必要性も高くなることが予想される。併せて、谷山北圏域における高齢化率の推移（平成25年4月から平成30年4月まで）については、鹿児島市全体では増加率が3.7%であったのに対して、谷山北圏域では15.6%から21.5%と5.9%と特異な伸び率を示していることを別添の資料を用いて報告した。</p> <p>②谷山北圏域ってどんなところ？ ・ケアマネジャーの役割について 人口減少時代における地域包括ケアシステムの構築を図るため、ケアマネジャーができる役割を別添の資料を用いて説明する。国が推進している在宅医療・介護が、谷山北圏域で実現できるのか？できない場合、阻害している要因は何か？ケアマネジャーの地域づくりに対する参画を促した。</p> <p>・グループワーク～みんなで考えてみよう！～ 谷山北圏域において、「看取り」を阻害する要因は何か？また不足している社会資源は何か？を協議。ケアマネジャーと包括が協働し谷山北圏域での地区診断を実施することに同意を得た。</p> <p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷山北圏域の人口動態および、将来予測について共有を図ることができた。</li> <li>・個別のケースを通じて、地域の課題を把握する視点を共有することができた。</li> <li>・在宅の看取りを行うためには、家族介護力が必要となることを確認した。</li> <li>・団地だけではなく、過疎地域も内包しており、社会資源も乏しい地域がある事を確認した。</li> <li>・谷山北圏域における移動販売の手段を確認することができた。</li> <li>・圏域のケアマネジャーと包括が協働し、アンケート等を用いて地区診断を実施することを確認した。</li> <li>・課題については、「地域ケア推進会議」の場で公表し、社会資源の開発につなげる事を確認した。</li> <li>・広域的な課題については、代表者会議にて政策提言する事を確認した。</li> </ul>		
今後の課題など	<p>①谷北やってみよ会との協働により、圏域内のケアマネジャーと地区診断を実施。</p> <p>②今年度の「地域ケア推進会議」にて、地区診断の結果を報告。</p> <p>③圏域内の施設や企業に働きかけ、谷山北圏域内に社会資源の創設を目指す。</p> <p>④広域的な課題については、代表者会議にて政策提言につなげる。</p>		